



こもり りゅういち  
小森 隆一 議員  
(公明党議員会)



熱中症対策の推進について

Q マイボトル給水スポットあるいはウォーターサーバーを市役所、文化施設、学校、福祉施設、公民館、公園、その他多くの場所に設置すべきと考えるが、本市の見解を伺いたい。

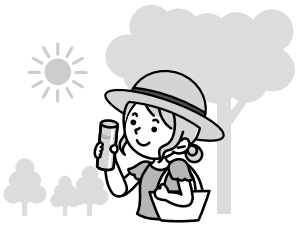
A 市民生活部長

給水スポットを市内の公共施設などに設置し、マイボトルを活用することは、ペットボトルの削減をはじめ、熱中症や感染症の予防といった市民の皆様の健康維持にも繋がります。ペットボトルなどのプラスチック製品の使用抑制により、温室効果ガスの排出削減や環境汚染の防止に繋がるため、市民のプラスチックごみに対する意識醸成を図る上で有効であると考えています。

給水スポットの設置は、他の自治体の導入状況や効果、運用コスト等について調査研究を進めていききたいと考えています。

その他の質問

☆誰も取り残さない不登校対策について



よこい ただゆき  
横井 帝之 議員  
(新風)



小・中・義務教育学校  
屋内運動場環境整備について

Q 国の補助金を活用した既存屋内運動場へのエアコン設置の検討について伺いたい。

A 教育部長

既存屋内運動場へのエアコン設置に対する国の補助事業については、令和5年度に補助率が3分の1から2分の1に引き上げられました。

現時点で具体的に対象校は定めていませんが、既に新築あるいは改修が終わったあそ野学園義務教育学校、葛生義務教育学校の2校も含めて、全ての小中学校を対象に今後検討していききたいと考えています。

その他の質問

☆小・中・義務教育学校運動場の安心・安全な環境作りについて



すずき やすひろ  
鈴木 靖宏 議員  
(新政クラブ)



佐野市文化会館リニューアルについて

Q 57億円の費用を費やすならば、新築の選択肢もあったはず。建て替えの選択をしなかった理由について、市長の考えを伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

文化会館の佐野市市有施設適正配置計画における方向性は、Cグループの改修・更新、現状維持に位置づけられています。

本事業は施設の長寿命化を図る改修のため、交付税措置のある地方債が適用になり、設計・改修工事費等約57億2000万円のうち、41億9000万円の借入れを見込んでおり、約14億2000万円の交付税措置が見込まれ、利子を考慮しない実質的な負担額は約43億円となります。

建て替えの場合は交付税措置のある地方債がなく、現在の文化会館と同じ延べ床面積では、約85億円と試算され、改修よりも約42億円多く費用がかかるため、改修を行うことが施設の長寿命化を図り、財政負担額が縮減できることから、最善と判断しました。

その他の質問

☆市長の危機管理について  
☆下水道使用料制度について